

がん相談支援センター

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

○名和 由一郎(がん治療センター長、改善推進本部長、輸血部長)

【医療相談職員】

○看護師:9名、社会福祉士:8名、臨床心理士:1名

2. 認定資格取得(2026年3月時点)

資格名	資格取得者
がん相談員基礎研修(1)・(2)修了	16名
がん相談員基礎研修(3)修了	6名
日本看護協会がん看護専門看護師	1名

3. 運営方針

2014年、がん診療連携拠点病院等の指定要件が新しく整備され、がん相談支援センターを設置しました。入院の有無を問わず、患者さんやご家族、地域の方から、がんに関するさまざまな質問やご相談にお応えしています。患者さんやご家族等が抱えているさまざまな悩みや不安を軽減できるようにするため、がん相談員研修を受けた看護師またはMSWが対応します。より具体的な内容に関しては、専門・認定看護師が対応します。

4. 実績

＜業務内容＞

- ・ がんに関する情報・療養生活に関する相談
- ・ 入院患者さんの転院・退院後の生活に関する相談
- ・ 患者さん・ご家族の方の精神面に関する相談
- ・ 症状緩和に関する相談

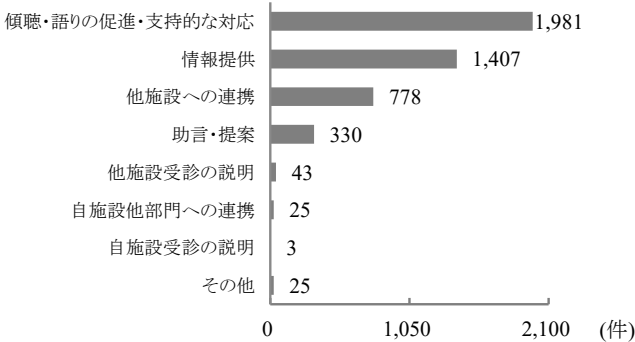
＜実績＞

(1) 地域医療連携室におけるがん相談内容

■ がん相談内容



■ 対応内容



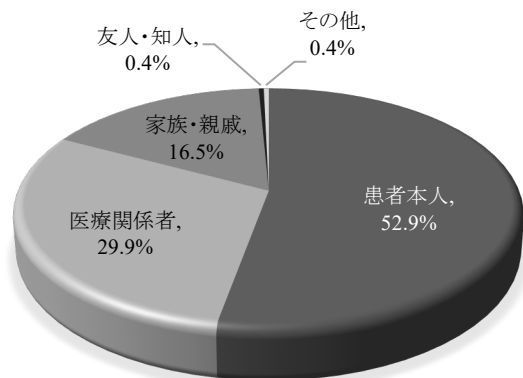
がん相談件数は年間 4,592 件あり、2025 年は前年より 3.4%増加しました。相談内容としては不安・精神的苦痛、ホスピス・緩和ケア、転院、がんの治療についての相談が増加傾向にあります。対応としては、傾聴・語りの促進・支持的な対応が約 4 割、情報提供が約 3 割となっています。

(2) 地域医療連携室におけるがん相談対応状況

■ 施設別相談者

相談者	件数	割合
自施設	4,555	99.2%
他施設	37	0.8%

■ 相談者の割合

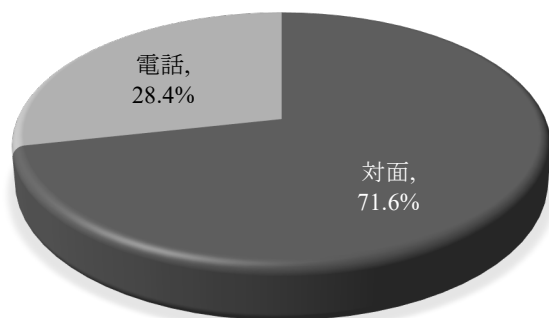


■ 対応した相談員の職種

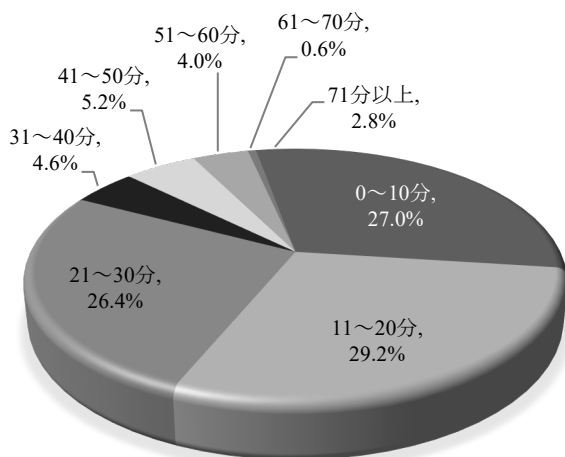
職種	件数	割合
看護師	2,609	56.8%
MSW	1,013	22.1%
臨床心理士	970	21.1%

相談者については、ほぼ自施設からの相談であり、患者本人からの相談がやや増加しています。相談対応は看護師・MSW・臨床心理士が行っています。

■ 相談方法



■ 相談に対応した時間



相談方法は、対面での相談が約 7 割、電話対応が約 3 割となっています。相談に対応した時間は、30 分以内が全体の約 8 割となっています。

(3) セカンドオピニオン

セカンドオピニオンは、他院から当院への依頼が 40 件、当院から他院への依頼が 66 件となっています。

(4) その他

2025 年はがん治療センター運営委員会主催により、がん症例検討会を 8 月に開催し、院内外の多職種の方々にご参加いただきました。また、がん相談に対応する相談員のスキルアップを目的に、国立がん研究センターがん相談員基礎研修(1)(2)及び(3)の研修やがん相談支援指導者研修、QA 研修に参加し知識や技術の向上に努めています。

がん相談支援センターの相談件数は、年々増加傾向にあります。今後もいつでも相談できる場所があることを周知していくことの必要性を感じています。

5. 2026 年度目標

- (1) 院内外の医療者(診療従事者)との研修会の継続
 - ・ 医療連携懇話会、がん症例検討会
- (2) がん相談員のスキルアップ(研修参加の推進)
 - ・ 国立がん研究センターがん相談員基礎研修(1)(2)及び(3)
 - ・ QA研修
 - ・ 両立支援コーディネーター基礎研修
 - ・ 緩和ケア研修会